



【永嶺高校伝統の人文字】



【新聞記事より】



◇旭川支部 旭永嶺の薦^{こも}田^だ（3年）は2打席連続本塁打で5打点の大活躍。二回無死一、二塁から「直球を狙っていた」と振り抜いた打球は、左翼フェンスを

白球の軌跡 支部予選から

2打席連続5打点

越えて大会第1号に。三回には左翼越えの飛球を放ち、本塁を駆け抜けるランニング本塁打となった。

意識するのは、旭明星中時代の同級生で、昨秋の支部大会では「手も足も出なかった」という旭実のエース田中楓。昨秋の全道準優勝校の右腕を攻略するため、「ベンチプレスやスクワットに力を入れて筋肉量を増やしてきた」という。

ともに2回戦を勝てば再戦する組み合わせで、薦田は「今度こそ打ち勝つ」と気合を入れた。（望月悠希）
二回無死一、二塁、左越え本塁打を放つ薦田



旭川永嶺・東川 3回1死一塁、薦田が左越えランニング本塁打を放つ

△旭川永嶺▽3番の薦田悠大(3年)が今大会1号を含む2打席連続本塁打を放った。まずは2回に公式戦初本塁打を左翼芝生席へ。「逆風だったのでレフトフライかと思っ

薦田2打席連続フォーム改良弾

旭川永嶺	110000	08101X	192
(旭川)	▽1回戦	(旭川)	スターリン
(東)	倉増一原	(5回)	コールド
(旭)	谷口一加藤、山館		
(困)	薦田2、石塚(旭)	(目)	佐々木(旭)
(目)	高野(東)	(東)	藤田
(吉)	井、石塚、谷口、高橋(旭)		

た」と一冬越えて飛距離の伸びを実感した。続く3回には左越え打で本塁まで駆け抜けた。昨秋は支部2回戦で最速147キロを誇る旭川実の田中楓基(3年)に「手も足も出なかった」と5安打零敗。広島・鈴木誠の動画を参考に、すり足から左足を上げるフォームに変え、振り込んできた。さらにベンチプレスが80キロから100キロとパワーアップ。「やり返したい」と雪辱の場を希望した。

20210511 道北 (旭川・上川)

【2回戦】

旭川永嶺	2	0	0	1	1	0	0	2	0	6
旭川工業	0	0	1	0	3	0	0	0	0	4

- (永) 佐々木(光)ー加藤
- (工) 栗田、塚田ー吉田
- (三) 橋本(永)
- (二) 佐々木(光)、谷口(永)、澤井、吉田(工)



○旭永嶺・谷口(八回に勝ち越しの二塁打を放つ)「直前にスクイズ失敗などがあり、悪い流れを断ち切ろうと積極的にストレートを狙った。ばらつきがあった打撃フォームを直し、安定させることができた。次の旭実戦は、しっかり投手に食らいつきたい」

©北海道新聞社

20210512 道北 (旭川・上川)



●旭永嶺・佐々木光(エースとして6回2/3を投げ、無念の6失点)「旭実戦は大事な局面で抑えることができず、力不足だった。ただ、コースにしっかりと投げる点では手応えを感じた大会だった。夏に向け、もう一度体づくりをして力強い投球をする」

©北海道新聞社

【3回戦】

旭川実業	2	0	0	0	2	2	2	8
旭川永嶺	0	0	0	0	0	0	0	0

- (実) 松本、田中(楓)ー北口 (7回)コールド
- (永) 佐々木(光)、佐々木(真)、佐々木(光)ー加藤
- (二) 櫛田、田中(楓)(実)

白球の軌跡 支部予選から

不調はね返す適時打

◇旭川支部 旭永嶺の主将で4番の松浦(2年)は、



四回旭永嶺無死満塁、松浦が3点二塁打を放つ

四回無死満塁で走者一掃の左翼線二塁打を放ち、チームのワールド勝ちに貢献した。

「偶然の当たり」と謙遜する一方で「最近是不調だったのうれしい」と笑顔がはじけた。

チームは初回到り打者12人の猛攻で一挙8得点。ただ、松浦は一回に死球、二回に四球とそれまで無安打だった。四回、好機で打席に立つとカーブを振り抜き、4番の仕事を果たした。

チームの目標は全道大会出場。松浦は「まずは確実に目の前の試合に勝ちたい」と次戦を見据えた。

©北海道新聞社

20210918 道北 (旭川・上川)

▽Aブロック準決勝
旭明成0323021011
旭永嶺00000101

(五回コールドゲーム)
(明)千葉、石田、三上、小野寺
(永)佐々木、西宮、熊谷
▽三塁打 石田、千葉(明)

●旭永嶺・松浦(主将で4番)「五回2死満塁で打席に立ったが、4番の責任感

◆Aブロック

▼1回戦

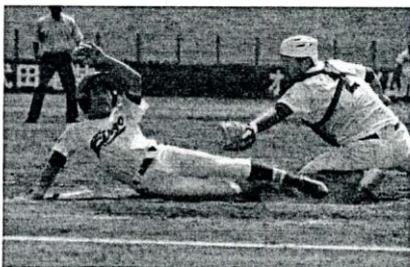
旭永嶺打線が11安打
旭永嶺 8003011
留萌 0000010

留萌

(5回コールドゲーム)
永嶺2511350 佐々木
打安振球失 熊谷
留萌174213 渡邊、
赤坂、

鈴木

▽2塁打 松浦(永)、工藤(留)



【旭永嶺―留萌】旭永嶺 1回表、2死2塁。2番橋本の左前打で2走野上が生還。8点目が入る

旭永嶺は初回、一番石塚がサード内野安打で出塁し、二盗。続く橋本の右前打で先制点。橋本はエラーが絡んで一気に三進。一死後、四番松浦が死球を受け、三塁として、五番熊谷の連打にエラーも絡んで、この一回一挙8点を奪った。
エース佐々木は五回を投げ、留萌打線を4安打、無失点に抑えた。
四回に四番松浦の走者一掃の二塁打で3点を追加した旭永嶺が圧勝した。



に押しつぶされ、打てなかった。これからは課題を明確にして次に生かせるようにしたい。チーム全体でピッチを守っていけるよう精神力も鍛えたい」

©北海道新聞社